

グループホーム「櫻」第31回運営推進会議議事録

日時 平成26年4月22日(火) 14:00～15:00
場所 グループホーム「櫻」 2F 食堂
出席者 運営推進会議委員
逗子市介護保険課 課長 石黒貫爾
葉桜自治会 福祉部長 松下元
社協：地域包括支援センター管理者 渡邊誓子
(代理：森川様)
逗子市民生委員 中田美代子
「委員5名中 4名出席」
医療法人社団柏信会 看護部長 岩木和子
グループホーム「櫻」 管理者 林 さゆり
事務長 遠藤勝三

会議概要

1. 開会の辞

定刻、事務長は各委員に本日の出席を謝すと共に理事長が公務の関係で欠席する旨を伝え、配布資料の確認及び議事の説明を行う。

2 議題等

(1) 報告事項

ア 入居者の現況及び活動状況について(資料)

：入居者の現況

今回は逗子市に開設された有料老人ホーム(4月)及び特養(5月)の影響をもろに受け、逗葉地区 GH 連絡会(4月18日開催)の参加施設を含め、職員の離職、新施設入所による退所等が顕著です。

櫻もご他聞に漏れず職員の応募者0、ご利用者様の退所が2名と予想されましたが、今後厳しい運営を求められる。

櫻の現況についてはユニット合計でご説明いたしますが、3月及び4月の退所者は入院退所を含め3名で、入居希望者は3名おりましたが、入所審査日直前のドタキャンが2名、1名は保留となり今月末で3部屋が空きとなります。さらに5月6日逗子杜の郷(特養)への入所が決定となり計4室が空きとなります。

そんな中での入居者の現況は以下の通りです。

(資料のユニット合計で前回と比較し説明)

要支援 2	0名	増減なし
要介護度 1	2名が1名	1名減
要介護度 2	5名	増減無し
要介護度 3	5名が4名	1名減 (更に1名近日退所)
要介護度 4	2名は1名	1名減
要介護度 5	4名	増減無し

平均年齢は88.11歳が89.33歳で 1.22歳の増
地域別では逗子市が14名、葉山町1名の合計15名です。
年齢構成別では80歳台が7名、90歳台が8名とかなりの高齢化が進んでおります。

なお、ユニット別の平均介護度では Aユニットは3.28度
Bユニットは3度とAユニットが0.28度高く、平均年齢も0.
24歳高い状況です。

: 活動状況

月刊の「さくら」1月号及び2・3月号で概要を説明。
各号は恒例の季節行事で、初詣、節分、誕生会、ひな祭り等で盛り上がり、特に1月及び3月はボランティアの協力を得て、懐メロの演奏や合唱、珍しい琴とフルートのコラボレーションを堪能されられました主な様子を掲載させて頂きました。

イ 外部評価訪問調査結果について (資料)

前のご報告いたしました1月15日(水)の訪問調査結果が纏まり送付されてきました。これは既に逗子市介護保険課長宛にご報告済みの資料です。

別紙資料の見方の概要説明後、下記事項を補足。

- : 評価結果報告書は自己評価50項目中20項目が評価対象となり1Pの評価項目構成に示されています。
- : 1年間の目標達成計画は検討課題と実行性を考慮し2項目に絞って提出しました。
- : 利用者ご家族のアンケート集計結果は18家族中13家族で回答率72.2%でした。項目1～12までは円グラフの示すところで概ね良好な評価を得ているようです。

「櫻」として問題視するところは最終ページの改善要望事項

です。常にご利用者様、ご家族様の視点でサービス向上を目指していますが、やはり細かい指摘もありました。

指摘事項については早速ミーティングを行い反省すべきは反省し、改善できるものから取り組んで更なるサービスの向上を図るよう努めました。

ウ 逗葉地区グループホーム連絡会について

4月18日(金)13:30~15:00、グリーンハウス逗子の会議室を借用して開催しました。

連絡会幹事施設が「櫻」から「葉山の里」に引き継がれ最初の連絡会でしたが、会場（特に駐車場）の関係で当分の間、グリーンハウス逗子のご協力を仰ぐこととなりました。

議題としては、先ほど入居者の現況等で少し触れましたが、逗子市に最近大手企業が開設した有料老人ホーム及び特養の影響が非常に大きいこと。一般市民の中には福祉施設といえば老健、老人ホーム、特養は承知してもグループホームは有料老人ホームの一つとして捉えている傾向が強いこと。グループホームの存立意義が希薄であること。空き室の問題は地域密着型がネックとなり非常に厳しい運営が迫られる。中には一時事業所の閉鎖も考えた施設もあったこと。

また、各施設間の職員による相互研修を今年度も実施して職員のスキルアップを図ることなど有意義な連絡会であった。

(2) その他

： 受診（入院）記録の様式について

前回の会議で議題となって青木病院看護部長提案の受診(入院)記録は、4月1日より記録開始、今後は本記録を整理しご利用者様の健康に関わる状況報告の資料とし定期的に報告したいと思えます。

事務長は各委員の了承を得て、以上の議案(報告)に関連した質問等は懇談形式で実施した。

質問等の概要は以下のとおり。

- ： 家族アンケートにもあった各種ボランティアの活用について、葉桜自治会でも各種愛好者が会館で活動している。それらクラブに協力してもらい参加したらどうか。
- ： ご利用者様の様態等の関係で移動が困難であり、移動可能な数名の付き添いにスタッフが一定時間不在になるのは難しい。

可能であれば「櫻」までお出で頂き練習でも結構です。ご協力頂ければ助かります。

： 評価報告のアンケート調査結果から無回答家族(5家族)の状況を把握し今後活用できないか。

： 「櫻」としては委託会社の依頼を受け調査用紙の郵送のみ、調査結果は委託会社直送で集計作業はタッチできない。また、個人情報観点から委託会社からの情報提供は難しい。

： 年に1回でも家族会による演芸会等を開催するよう「櫻」から働きかけてみてはどうか。(敬老の日などに実施)

そのような機会を儲け、医療面からの問題点等もお伝えする。

： 家族会そのものが存在しない。今まで敬老会の催し物は「櫻」で企画し、ご家族もご利用者様と一緒に参加され、終了後事務方等の懇談会に参加、意見交換などを行ってきた。

その中で医療連携や見取りの質問にも可能な限り答えてきた。

家族会の発足については開設当初から課題の一つとして、そのきっかけ作りに苦慮してきました。ひな祭り、敬老会の催し物にあわせ環境づくりに努めてきました。

現在、「さくら」でも年に3回ほど投稿を呼びかけ、ご家族間の共通話題を提供したいと努めてきましたが1件の投稿もありません。学校のPTA,子ども会、スポーツ同好会のご家族と違い、入居理由はまちまち、入居後の意識の差が顕著です。

今後も諦めることなくいろいろな方策を模索してよりよい結果を導きたいと願っています。

： 葉桜自治会館で30名程度の講演会を6月に予定しているので講師の派遣をお願いしたい。テーマは「認知症について」

： 派遣依頼を出して頂ければ理事長(院長)に相談し前向きな回答を得る。理事長(院長)が難しければ看護部長を派遣(看護部長了承済み)する。依頼書は「櫻」に届けて頂くことになった。

※ その他少なからず発言はあったが、上記に付随したものであり割愛する。

4 閉会の挨拶

事務長は意見交換終了を見お計らい次回開催日を委員に計らう。

※ 次回開催予定：平成26年7月29日(火) 14:00～15:00

以上をもって会議終了を宣する。